

## 観光でまちおこし 岩美ふるさと体験協議会 モニター体験開催

1月31日(日)、岩美ふるさと体験協議会が「モニター体験」を開催しました。岩美ふるさと体験協議会は岩美ならではの「ふるさと体験」を活かし、元気な岩美町を全国に発信しようとして、昨年3月に観光協会、農協、漁協、商工会等で設立しました。現在、この協議会で岩美町の魅力を最大限に引き出せる新しい観光のありかたを検討しています。

当日は、美術作家の岡野元房さんの指導で、「テラコッタ、ジオ書く、ジオ描く、ジオみる」とジオパークと自然にちなんだテーマで4つの体験メニューを行いました。

同協議会川口会長はこのモニター体験について、「ジオパークをからめて、観光としてのまちづくりをしていきたいと計画した。近年は、観光も体験型が全国的な流れになってきている。みんなが一体となって受け入れ体制を整え、岩美町を盛り上げていきたい。」と抱負を語っていました。

現在、岩美ふるさと体験協議会では、皆様から体験メニューを募集しています。詳しくは今月広報いわみと同封の折込チラシをご覧ください。



テラコッタ



ジオ書く



ジオ描く



ジオにあるモトフサ美術館をみる

## 鳥取大学地域学部地域政策学科 「岩美町・地域調査実習」現地報告会開催

2月13日(土)、鳥取大学地域学部地域政策学科が、大岩交流センターで、「岩美町・地域調査実習」現地報告会を行いました。

鳥取大学地域学部地域政策学科は、2年生の必修科目のひとつとして、地域における課題・問題等に着眼し、1年間かけて調査研究を行っています。昨年に引き続き、今年も岩美町について、54名が35のテーマで調査研究を行いました。

当日は町民、大学生、大学関係者等134名が参加しました。参加者は、岩美町の様々な課題の現状と今後の在り方等に大変熱心に聞き入り、発表が終わると質疑等を活発に行っていました。

最後にこの報告会の総評として西垣副町長は、「今回取り上げられたテーマについては、岩美町の行政にとってまさに大きな課題。そこに着目し、取り上げてくれて素晴らしいと思う。ぜひ参考にさせていだきたい。」と、この調査研究を大変高く評価しました。



## 大山乳業農業協同組合 中山間集落見守り活動協定 調印式

このたび、大山乳業農業協同組合は、中山間集落見守り活動支援事業の趣旨に賛同し、同組合、同組合関連会社及び地域の販売店で組織する白バラ会において、県内全域で地域の見守り活動を実施することとなりました。

活動を実施するに当たり、2月12日(金)知事公邸で、大山乳業農業協同組合、同組合関連会社、各地区の白バラ会と、県内市町村を代表する岩美町、倉吉市、及び大山町、並びに県とで、中山間集落見守り活動協定の調印式を行いました。

同組合代表理事福田組合長は、「商品をお届けするだけでなく、皆さん

の暮らしを少しでも支える仕組みができてうれしい。販売店のみならずと一緒に役割を果たしていきたい。」と挨拶。

県内2万世帯の宅配を行っている同組合。また、ひとつ安心が加わりまし

